

「卵の殻 100%有機石灰肥料」をベトナムに！

～佐賀の企業がベトナムの農業の高付加価値化に挑む～

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社グリーンテックノ21(佐賀市鍋島町、下浩史代表取締役、<http://green-21.com/>)が提案する「廃棄卵殻を活用した有機石灰肥料事業に係る基礎調査」(ベトナム)を採択しました。

ベトナムでは都市部を中心に、安心・安全な高付加価値野菜への需要が高まっている一方で、農薬や化学肥料の使用量増加に伴う、農作物の安全性確保と生産コスト増加が課題となっています。同社は、2003年の創業以来、産業廃棄物として捨てられる「卵殻」を活用して、100%有機石灰肥料(写真左)等の商品を開発・販売しています。割卵工場に卵殻乾燥粉碎装置(写真右)を設置し、現場で肥料を製造するという独自のビジネスモデルで、廃棄物の増加が大きな社会課題となっているベトナムにて、産業廃棄物の削減と再資源化を目指します。また、高栄養価で安価な、同社の有機石灰肥料を現地で普及させることで、ベトナムにおける安心・安全な高付加価値農業の推進に貢献することが期待できます。



写真左: 同社の有機石灰肥料(日本国内で販売)



写真右: 割卵工場に設置予定の卵殻乾燥粉碎

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注)本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2012年度から実施されており、2018年度第1回分は今年4月に公示を行い、13件が採択。参考: 2018年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/press/2018/20180816_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州センター 市民参加協力課 担当: 大園、山下
 TEL: 093-671-8204 E-mail: Ozono.Momomi@jica.go.jp